

令和3年度 動物愛護相談センターにおける動物由来感染症調査計画

1 目的

都内における動物由来感染症の動態を把握するため、実態調査等を実施する。また、その結果を都民や動物取扱業者に還元することにより、動物由来感染症の発生防止を図り、都民の安全確保、並びに、飼い主・動物取扱業者の適正な動物飼養管理等の一層の充実に資する。

2 調査項目

(1) 犬と猫の寄生虫調査

ア 調査理由

犬・猫の体腔内には、回虫、条虫、鞭虫など様々な寄生虫が寄生している。多くは人獣共通の寄生虫であり、人に重篤な症状を起こすものもある。

令和3年度も保有状況の把握のために引き続き調査を行なう。

イ 調査規模

犬5頭、猫50頭

ウ 検査方法

糞便検査と解剖検査による心臓内及び消化管内の寄生虫の調査

エ 検査機関

動物愛護相談センター 城南島出張所

(2) 狂犬病検査のための安全で簡便な検体採取方法の検討

狂犬病検査のための検体採取方法について、国立感染症研究所獣医科学部第二室及び狂犬病臨床研究会の助言・指導を受けながら、安全かつ簡便な方法の検討を行う。

3 実施期間

通年

4 調査結果

東京都動物由来感染症検討会において検討するとともに、詳細については動物愛護相談センターが開催する調査研究発表会で報告する。また、内容を精査して公衆衛生獣医師協議会研究発表会や獣医学会等への外部発表も行う。

また、動物愛護相談センターで実施する講習会等において調査結果や予防法等について普及啓発を行うとともに、動物取扱業監視時の業者への啓発材料としても活用する。